

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

|           |                   |
|-----------|-------------------|
| 1. 整理番号   | 8                 |
| 2. 大学等名   | 仙台高等専門学校          |
| 3. テーマ    | I. アクティブ・ラーニング    |
| 4. 取組学部等名 | 総合工学科             |
| 5. 事業期間   | 平成26年度～令和元年度（6年間） |

【公表】

| 8. 事業の概要(※400字以内)  | (395.5文字) |
|--|-----------|
| <p>アクティブラーニングを実践するための全学的な授業改革ならびに抜本的なカリキュラム改革を行う。本校ではすでにアクティブラーニングが一部の授業で実施され、その有効性が確認されている。学生の主体的な学びをサポートするICTを活用した学習支援システムも開発されている。さらに次世代型教育推進室が設置されアクティブラーニングを浸透させる体制が整っている。残る課題は、全教員の意識改革、スキルの向上である。本事業では徹底した教員研修により意識改革、スキル向上を行い、アクティブラーニングを加速度的に浸透させる。さらにカリキュラムを抜本的に改革し、5年以内に全科目の90%をアクティブラーニング化する。併せて開発する教育効果測定法により本事業の有効性を確認し、その成果を世界的に発信することまでを事業とする。ひいては、21世紀を生き抜くスキルを持った人材ならびに新しい分野を切り開く超有為な人材の育成に貢献する。</p> |           |